

証言

# 魚で食つても食がれぬの

## ——バンクはじまりのころ——東京——

駒金哉

前略 『渡世』七月号第手せり。ありがと  
う。

さて、安い血を売つてるのでちとあざれた  
のだが、ホントらしいので、旧い話であるが  
我が「赤い血、白い血、吸血鬼」時代をうち  
参考までに——と云つても、安い血を売ら  
なければその日をしのげない人をバカにする  
さないが、厭な渡世だネ。しかし、その気  
持を我はよくわかるぞ。人は粗末な客をして  
いれば白い眼で見る、ちとノリのきいたシャ  
ツを着ればデカに付けられる、とかくこの世  
は住みにくいが生きねばならん。だが粗末  
な客をした奴に真の悪人はいない。真の悪人  
というのは、ニコニコと愛想の良い吸血鬼で  
はないか。様々な形で搾られるが、今日は血

液バンクについて聞かれた件をたいした参考  
にはならんが、まずそこまでの能言が少し足  
さないと思ひ出せないが………

### そいつはなんと当時の 方が高く売れてた

手にあまる暇わたを地に這わせ、血溜りの  
なかをひくひくと這いずりまわるも、今は昔  
だろうか？ 隣国の動乱となるや、こちらは  
反対に敗戦のどさくさ時代も治まり、人権興  
重など人間の新ウチらしきものが安定し始  
めたようだ。それでも当時は、切つたはつた  
の嘘をして瀕死の重傷を負わせても罰金刑  
悪くて一、二年を務めれば出獄だから、人権  
云々といつても個の生命など騒ぐ程ではな

った。大衆的に、生命は大切にしよう？人を傷つけるは大変だ、と騒がれたのが、田和三年の女郎屋さんがお腹れになり横井社長暗殺未遂事件を安藤組が起こしてからがせんと血のネウチが付いて、毎々たる傷害事件でも人命尊重のたてまえ重罪に科せられ、血にじんせとか、鼻血がこぼれても一、二年の実刑を打たれ、とにかく血が出たといえは大騒動なのだ。それからすると、現在は想像がつかうと思う。

それ程人命尊重云々なのに、人間の血のバカ安いのはどうしたこじか？人間の体には四〇〇〇ccの血がある。一〇〇cc三五〇円の現在、一万四〇〇〇円が人間一人を皮むいてシューサーにかけてよく搾り取ったネタンビ。狂乱物価の今日、土方の一日の手間が五〇〇〇〜七〇〇〇円だ。三日分にも満たないのが人命尊重と騒いでいる、御一人様の生命のネタンなのだ。これはどうしたこじか？

レッド・バンクなるものができたのが、当時の我は、七五〇〇円の月給取で関東配電に勤めて奥面目な人だった。アルバイトに共産党の選挙運動をしたことがバレて一方的に首切りになり、毎日会社への斗争のあげく刑務所、そして相手にされない社会へ帰って人夫をやり血を売ることを知った。

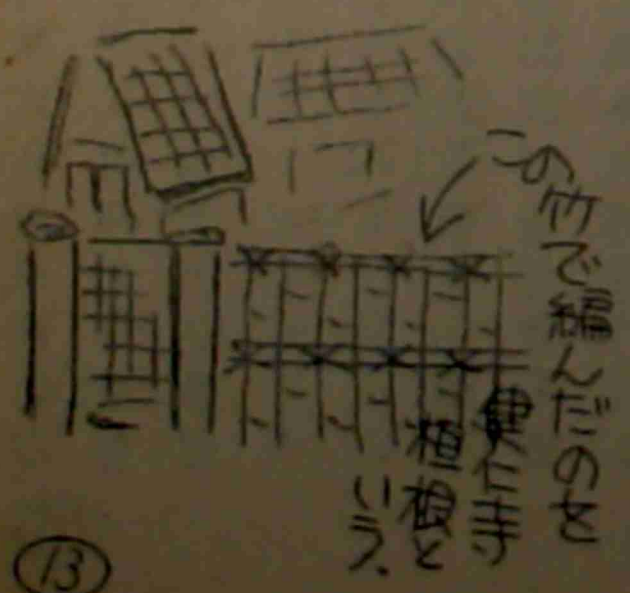
人夫の手間は三〇〇円前後だった。一般社会の職人共の手間も三〇〇〜五〇〇円だった。二〇〇ccの血など若い身には取が刺す程にもこたえない。それより女の肌がちらついで眠れない。女郎さんの情を知ったら一夜として行かすば寝られない我は、毎日血を売る決心をして通ったが、女もなじみになるとあまり無理を云わないので、一日おいては売血に癒った。三食とたばこ付きで五〇〇円でまけて貰う。こんな生活を半年位続けた頃に、方々にもぐりのバンクがあることを知り、早速二人でウマイ汁を吸うことを教えられて、あるバンクへ行った。

メ公がばたばたと殺られた朝鮮動乱朝なのだ。時給者は二〇〇〇〜二四〇〇円の手間」といつた時代だ。

仕事もロクにない時にいきなり血がほとんどとんとんと値よく売れた。ちなみに、一〇〇cc五〇〇円だ。そしておまけに栄養剤をのませる血割の注射をして、三〇分〜一時間をベッドに休ませて、まるで家族の如く至れり尽せりのサービスだった。これはちどつるさくて、一回に一人から二〇〇cc以上は採血はしないが、当時一〇〇〇円あれば女郎屋さんがちよいの間が一五〇〜三〇〇円、泊り十二時から五〇〇〜八〇〇円、夜の一二時が過ぎるまであつちあちあちこつちあちあちかわいいいネエちゃんを見て歩き、五〇〇円位で話を決めエハンを喰わせて着い抱いて数々のお世話になり？陽の昇るさわやかな柳並木をぶらぶらあちとたばこ屋まで送られてたほこを一つサービスしてくれて「また今夜ね！」なんかの親切さといつたら弁天様だよ。

## もぐりのバンクで 常習者となるまで

ちと驚きが長くなりましたが、これからが今流行のバンクの始まりなのだ。その一粗癖を——東京でも田舎田舎といえは超一流の屋敷町である——緑のお産か、占領後の目的のため盲目的に戦争の空襲をまねがれたのか？戦争など知らんと云ったようない即ち——その調布の駅前を、杉並木通りのだらだら坂を、多摩川に向い下っていくと、皇太子と美智子のデイトのテニスコートがあり、その脇を抜けて行くと青いトンがりボウシの家が見えてくる。「健康仁寺根」門に新しい看板を下げ、初めての方は右側の事務所へおいで下さい、日本医療心と小さく書いてあ





てたので採血はしてくれないと思つていたが、  
そんな病氣など何も染することはなかつた。

人のカード持つて病院へ行き、女中さんが  
車にはねられて割腹手術ということだった。  
事前の一〇〇〇を採り、二時間の手術だから  
後は三〇分毎に五〇〇〇とということだったが、  
三人は眞血を起こして倒れてしまい、結局我  
はハ〇〇〇を三回で抜いて、二時間ばかり病  
院で休んで来た。

毎度抜いてる奴らの血はみぞ汁のように薄  
くて比重が低い血で、看護婦達も怒り出し、  
もつと元氣のよい人をまわせと事務所へ電話  
するも人間が足りなくて、看護婦達に頭を働  
えられた奴ばかりしかいないような状態だつ  
た。

日〇〇〇円あれば一週間女郎屋へ泊り続け  
られるので、二、三日もすれば体は回復する  
が、上（赤い血）と下（白い血）でよくも順  
張つていたものだ。ヤリ一筋の武士だよ？  
とにかく病院の往来が女郎屋街を通るのだから

らたまらない。二〇〇〇人からいる女の人、  
そして二〇代となれば素通りできるはずがな  
い。明るいうちから「よつてらっしゃいよ」と  
引つ張るのだから、二、三〇〇メートルの  
「ナカ」を抜けるのにどれどれと小一時間も  
かかる。ちゃんの間やつて出て来ても、また  
も「あまい声」かかれば気がおかしくなるぞ。  
しかしこんな世を何も悪いことをしないうで  
毎日泊まるまじいかないが、半月は泊り後  
は他で浮気して抱かない日はない。

### 吸血鬼の子分に

なつて知つた実態は

白い血はせこにはならんが夢がある。赤い  
血のことも心配して、真面目に頼めて女房で  
も賣うことになり、吸血鬼に相談したら、子分  
になれという。一食増して三食付きで五〇〇  
〇円くれるというので、考えたがウマイ汁を  
吸わせるというので、翌日から日本医原の  
外交員ということになった。